

8月上中旬出荷向けの黄色系コギク 新品種「常陸サマーゴールド」(品種登録出願中)

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目で産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位のシェアを占め、重要な花き品目となっています。県産の主な出荷時期は7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日で、今回、8月上中旬出荷向けの黄色系新品種「常陸サマーゴールド」を育成しました。8月旧盆から盆明け出荷用の品種として有望です。

● 育成経過 ●

平成15年に夏系コギクの子実交配種子を採種し、翌16年に得られた実生から育種目標にかなった系統を1次選抜しました。平成17年に生物工学研究所において2次選抜を、平成18、19年に現地ほ場と園芸研究所において適応性試験を実施するとともに、市場性を調査した結果優良と認められたため、新品種候補としました。



選抜ほ場における検討会



「常陸サマーゴールド」



● 特徴 ●

花色は明るい黄色です。季咲きの開花時期は8月上中旬であり、8月旧盆から盆明けに出荷が可能です。葉は光沢のある照り葉で、白さび病に強いことが特徴です。茎の中下位節から側枝が発生しやすい短所が見受けられますが、現地試験においては作りやすい、切花長が長い、花色が良い、ボリュームが大きいなど良好な評価を得ています。

「常陸サマーゴールド」の特性(試験年次:平成17~19年、8月出荷作型)

品種	花色 ¹⁾	開花 始~終 (月・日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (輪)	花径 (cm)
常陸サマーゴールド	3A	8.04 ~ 8.16	93.7	81.9	34.8	13.9	44.7	3.8
すばる	6B	7.29 ~ 8.07	86.6	75.8	34.6	09.8	33.9	3.9
ホタル	5B	7.27 ~ 8.08	92.1	61.2	34.6	10.5	16.6	4.2

1) RHS カラーチャートによる。